

日銀1%に利上げ

物価抑制31年ぶり高水準

原油価高止まり警戒

日銀は16日、金融政策決定会合で物価や景気を調節する政策金利を現行の0・75%程度から1・0%程度に引き上げることを決めた。1995年以来31年ぶりの高水準だ。中東情勢を背景に原油価格が高止まりし、物価が想定を大幅に超えて上昇する可能性があるかと判断した。利上げは昨年12月以来、4会合ぶり。

植田和男総裁は入院のた るが、物価対策を優先した が強まっている。

米国とイランの戦闘が終 結しても、原油が期待した ほどは下がらないとの見方

日銀が10日に発表した 入品の価格上昇に直結する ため、利上げを求める声は 強かった。

5月の企業物価指数は、石 油関連製品の価格上昇によ り前年同月比6・3%上 昇。日銀内では利上げが後 動型住宅ローンの返済額は 手に回り、幅広い製品が値 上がりするとの警戒感が強 い。

日本の金利は米国に比べ 低く、外国為替市場では円 ず。

金融政策決定会合 日銀が政策金利の上げ下げといった金融政策を決める会議。総裁と2人の副総裁、審議委員6人の計9人による政策委員で構成し、会合に出席した委員の多数決で方針を決める。定例会合は年8回で、各回2日間開く。市場関係者の注目度が高く、決定内容は円相場や株式、債券市場への影響が大きい。透明性確保のため出席者の主な意見や議事要旨を後日公表する。



政策金利の引き上げを決めた日銀の本店13日